

報道関係者各位

三井不動産レジナル株式会社 ・ 三菱地所レジデンス株式会社 ・ 野村不動産株式会社 ・ 住友不動産株式会社
住友商事株式会社 ・ 東急不動産株式会社 ・ 東京建物株式会社 ・ NTT都市開発株式会社
日鉄興和不動産株式会社 ・ 大和ハウス工業株式会社 ・ 三井不動産株式会社

～晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業～

HARUMI FLAG

「第24回 緑化技術コンクール」で環境大臣賞を受賞

晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業(以下、本事業)の特定建築者11社、及び本事業の計画・設計・施工等に参画する関係各社は、都内最大級の複合開発となるHARUMI FLAGにおいて、公益財団法人 都市緑化機構が主催する「緑化技術コンクール」において環境大臣賞を受賞しましたので、お知らせします。佳子内親王殿下の御臨席のもと、佐々木紀国土交通副大臣と辻清人環境副大臣を来賓として迎えた第8回「みどりの『わ』交流のつどい」にて表彰が行われ、同賞が授与されました。



表彰式の様子(2025年12月15日撮影)

「緑化技術コンクール」は、気候変動への適応や2030年ネイチャーポジティブの実現、官民連携による居心地の良い空間づくり・にぎわい創出等に資する緑化技術において、優れた成果をあげた民間企業、公共団体、個人等を表彰する制度です。部門は「緑化施設部門」と、「特設テーマ部門（『GREEN×EXPO 2027（国際園芸博覧会）』に向け、日本から発信する緑化を支える新たな技術）」の2部門で構成されています。

本事業は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後、「海に浮かぶ緑の環境都市」「魅力的な都市空間の創出」をテーマに再整備された、人口約12,000人となる都内最大級の街です。生物多様性に配慮した植栽計画、水景の水質維持と上水使用量の低減を実現したハイブリット水景・灌水システムが高く評価され、緑化施設部門で受賞いたしました。

HARUMI FLAGはこれからも、人と自然が共生する持続可能な街づくりを推進してまいります。

<第24回 緑化技術コンクール受賞作品詳細>

- ・ 作品名：「HARUMI FLAG」
- ・ 受賞者名：鳳コンサルタント(株)、三井不動産レジデンシャル(株)、三菱地所レジデンス(株)、野村不動産(株)、住友不動産(株)、住友商事(株)、東急不動産(株)、東京建物(株)、NTT都市開発(株)、日鉄興和不動産(株)、大和ハウス工業(株)、三井不動産(株)、(株)日建設計、(株)日本設計、(株)三菱地所設計、東急建設(株)、(株)長谷工コーポレーション、前田建設工業(株)、三井住友建設(株)、住友林業緑化(株)、イビデングリーンテック(株)、(株)石勝エクステリア、東武緑地(株)
- ・ 概要：本作品は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村としての一時利用を経て、「海に浮かぶ緑の環境都市」「魅力的な都市空間の創出」をテーマに再整備された緑化施設です。生物多様性に配慮した植栽計画、水景の水質維持と上水使用量の低減を実現したハイブリット水景・灌水システム等が高く評価されました。

評価された取り組みの一例

(1) 生物多様性に配慮した計画

生物多様性に配慮した植栽計画を心がけ、各街区の50%以上の空地に、中高木（在来種中心）を合わせて約4,500本を植栽。既存樹の移植、まとまった緑地の確保と草地による開放的な広場などを整備し、緑の質を高めました。また、小動物の生息場所、水辺、既存樹木を活用した再生ベンチ・スツール・バードバス・巣箱など、積極的に環境配慮の取り組みも行いました。管理においては、外来生物を積極的に除去することで在来種の保護に努めています。



(写真左) 敷地内に「島風」をデザインテーマにマウンドによる緑の島を設け、奥行き感のあるオープンスペースを創出。

(写真右) 生物多様性の重点整備エリア。既存樹を再利用したベンチ、スツール、バードバスを配置。

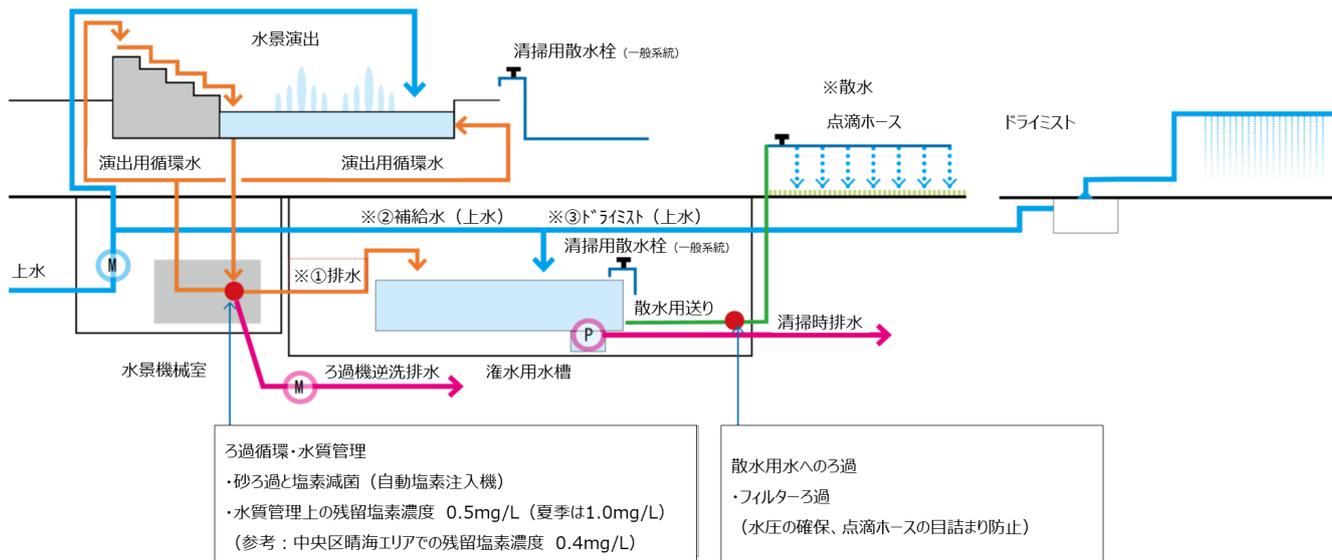
(2) ハイブリット水景・灌水システム

人工地盤部における植栽管理では、持続的な灌水が必須であるため、緑地の1回当たりの灌水量と水景保有水量が極力同じになるように水景をデザインすることで、水景の水質維持・上水使用量と水景メンテナンス費の低減を可能にしました。

●ハイブリット水景・灌水システムの水景施設



●ハイブリット水景・灌水システム概念図



※① 排水は夜間とし、散水時間は季節により異なる。（夏季は早朝など）
 ※② 補給水は、散水量 > 水景水量 の場合補給する。

HARUMI FLAGとは

〈東京2020オリンピック・パラリンピック選手村として活用後、新築住宅・商業施設として完成〉

東京都施行による晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業における特定建築者11社により、開発区域のタウンネームを「HARUMI FLAG」として開発が進められました。約13haの広大な土地に、5,632戸の分譲住宅・賃貸住宅と商業施設の計24棟が整備されています。加えて、保育施設・介護住宅・シェアハウスなどの開設により、多様なライフスタイルを受け入れる街づくりを行いました。分譲住宅は全戸引渡しを終え、街に賑わいが生まれています。選手村のレガシーを継承し、官民連携のもと、街区と道路・公園などを一体的に整備して美しい街並みを実現した、これからの都市生活のフラッグシップとなる街。それが「HARUMI FLAG」です。



空撮写真(2025年6月撮影)



「HARUMI FLAG」全体開発概要

総開発面積	133,906.26 m ²
総計画戸数	住宅5,632戸(分譲住宅街区4,145戸、賃貸住宅街区1,487戸(シニア住宅、シェアハウス含む))、他に店舗・保育施設、商業施設

「HARUMI FLAG」各街区開発概要

	PORT VILLAGE	SEA VILLAGE	SUN VILLAGE	PARK VILLAGE	三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG
主な用途	賃貸住宅（シニアレジデンス、介護住宅、シェアハウス含む）、店舗、保育施設	分譲住宅	分譲住宅、保育施設	分譲住宅、店舗	商業施設
所在地	東京都中央区晴海五丁目 501 番(地番)	東京都中央区晴海五丁目 502 番(地番)	東京都中央区晴海五丁目 503 番(地番)	東京都中央区晴海五丁目 504 番(地番)	東京都中央区晴海五丁目 505 番(地番)
敷地面積	26,300.14 m ²	23,633.20 m ²	37,441.27 m ²	35,175.79 m ²	11,355.86 m ²
棟数	4 棟	5 棟	7 棟	7 棟	1 棟
住戸数	1,487 戸	686 戸	1,822 戸	1,637 戸	－
階数	地上 15～17 階、地下 1 階（板状棟）	地上 14 階～18 階、地下 1 階（板状棟）	地上 14 階～18 階、地下 1 階（板状棟） 地上 50 階、地下 1 階（タワー棟）	地上 14 階～18 階、地下 1 階（板状棟） 地上 50 階、地下 1 階（タワー棟）	地上 3 階、地下 1 階
駐車場台数	312 台	313 台	831 台	758 台	104 台